

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	5	事業名	高津区音楽のまち推進事業（花コンサート）		
事業所管課	地域振興課		担当者	中澤	連絡先	044-861-3134	

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<p>【音楽事業共通】</p> <p>区内の多様な音楽資源を活用し、個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進するために、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。</p> <p>また、市民協働で取り組むことで、区民ニーズに即したコンサート等を開催するとともに、協働のまちづくりの推進が求められている。</p>
事業概要	<p>【音楽事業共通】</p> <p>区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。</p> <p>【内容】プロなどの音楽家によるコンサートを気軽に楽しめる機会として、区役所等のロビーを活用したコンサートを開催し、本格的なホールでの音楽鑑賞の機会として、高津市民館大ホールでのコンサートを開催する。また、これらコンサート開催に向けた企画運営を行う。</p>

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	999,220	予算額（調整後）	999,220	決算額	928,738	不用額	70,482
不用の理由	想定していたKSP開催費が先方の好意により無料となったこと等による差異						
事業目標	集客数を維持向上させること及び来場者アンケートの結果「満足できた」という意見を8割以上得ることを目標とする。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	プロの音楽家によるコンサートを昼休みの時間帯（12:00～12:40）に開催する。知名度の高い楽曲を演奏することにより親しみやすいコンサートとする。出演者に関しては、一般公募により募集し、運営委員会で選考するものと、運営委員会からの推薦によるものを併用する。また、新たな客層への音楽鑑賞機会の提供のためにKSPでも開催する。さらに、平日の花コンサートに来ることの出来ない区民に対しても音楽の提供の機会を設けるため、年1回「大きな花コンサート」を開催する（年2組程度）。						
事業目標を達成する上での課題等	<ul style="list-style-type: none"> ●地域振興課と生涯学習支援課で行っている事業について、情報共有して連携を図り、区民のニーズを取り入れることにより、効率的で効果的な事業展開を図っていく必要がある。 						
実績	<p>委託先：花コンサート運営委員会</p> <p>【花コンサート/区役所ロビー12:00～12:40】 ●5/26（火）250名 ●6/23（火）190名 ●7/28（火）190名 ●8/23（日）150名 ●9/29（火）220名 ●11/24（火）210名 ●12/15（火）200名 ●1/26（火）180名 ●2/23（火）240名</p> <p>【花コンサート in KSP/かながわサイエンスパークロビー12:00～12:40】 ●3/15（火）360名</p> <p>【大きな花コンサート/高津市民館大ホール14:00～15:45】 ●10/24（土）664名</p>						
協働の視点	企画・運営を区民で構成される運営委員会に委託し、協働により実施している。協働の資料を配布するなどし、役割分担の見直し等を行ってきたことで、休みが急遽出るような不測の事態にも全員が積極的に他の分担を遂行することができるようになっている。						
環境配慮への視点	再生紙や裏紙を使用した資源の節約に努めた。						
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ●来場者数は、毎回座席（約100席）が埋まり立ち見が出る状態が続いており、十分に成果が上がっていると思われるものの、会場規模を考慮すると、これ以上の来場者増は厳しいと考えられる。 ●アンケート結果の満足度 ロビー86.1%、大きな花コンサート91.5% ●毎年行っている出演者募集では、10回の枠に52組の申込みがあり、この事業が認知され、出演する魅力が高まってきたことがうかがえる。出演者が、より多彩により良質になることにより、地域の魅力アップに繋がると考えられる。 						<p>達成度</p> <p>3</p>

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<p><input type="checkbox"/>見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/>終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/>現状どおり継続 <input type="checkbox"/>事業を終了する</p> <p>平日の昼間のコンサートであるため来場者の固定化が懸念されるが、本年度実施したKSPのように様々な客層が見込める施設での開催を今後も続け、より多くの区民にゆとりと安らぎの時間を提供していく。また、広報が届きづらい世帯にも周知することを意識し、マンネリ化しないよう検証・見直しをしながら継続し、より良い形での協働も目指していく。</p>
------------------------------	---

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	5	事業名	高津区音楽のまち推進事業 (サロンDE・おやこDE・ホールDEコンサート)		
事業所管課	生涯学習支援課			担当者	水野	連絡先	044-814-7603

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	【音楽事業共通】 区内の多様な音楽資源を活用し、個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進するために、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。 また、市民協働で取り組むことで、区民ニーズに即したコンサート等を開催するとともに、協働のまちづくりの推進が求められている。
事業概要	【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】市民が企画・運営に関わり、手作りのコンサートを開催する。主に地域の人材・団体に出演を依頼し、談話コーナーを活用した申込不要のサロンDEコンサート、子どもとその保護者を対象とするおやこDEコンサート、大ホールを利用したホールDEコンサートを開催する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	354,000	予算額(調整後)	354,000	決算額	353,871	不用額	129
不用の理由	契約差金						
事業目標	「音楽のまち・かわさき」を推進するために、地域の人材・資源の活用を図ることにより、音楽を通じたまちづくりを目指す。事業実施に当たり、集客数の維持向上及び新たな音楽家・グループの発掘を進め、効果的な事業展開を目指す。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	サロンDEコンサート：高津市民館談話コーナーでの月1回(6月～1月、10月を除く)のミニコンサート ホールDEコンサート：サロンDEコンサート出演者による年1回のジョイントコンサート おやこDEコンサート：親子で楽しめる年3回のコンサート 行政機関・団体・企業等との広報協力による広報の展開、実行委員による地域情報収集による音楽家・団体の発掘により効果的に事業を展開する。						
事業目標を達成する上での課題等	サロンDEコンサートは高津市民館談話コーナーでの開催であるため、ピアノや太鼓等大音量の楽器を使用できないという限定的な条件の中で多彩な音楽を提供すること。おやこDEコンサートは未就学児以下が対象であるため、飽きさせない内容とすることが課題。						
実績	【委託先】たかつサロンDEコンサート実行委員会 (1) サロンDEコンサート 6月～1月(10月を除く)の原則第3日曜12:10～12:45に高津市民館談話コーナーで開催した。 6月21日(日) サクソフォンアンサンブル 参加者数119人 7月19日(日) アイリッシュハーブ 参加者数60人 8月16日(日) 中国琵琶・二胡 参加者数74人 9月20日(日) シャンソン 参加者数98人 11月15日(日) 吹奏楽 参加者数80人 12月6日(日) 津軽三味線 参加者数70人 1月17日(日) フルート・ハーブ 参加者数86人 (2) ホールDEコンサート 日時：3月6日(日) 13:30～15:30 会場：高津市民館大ホール 入場者：560人 (3) おやこDEコンサート ①日時：10月27日(火) 10:30～11:30 会場：高津市民館大会議室 参加者：143人 ②日時：12月18日(金) 10:30～11:30 会場：高津市民館大会議室 参加者：237人 ③日時：2月14日(日) 11:00～12:00 会場：高津市民館大会議室 参加者：200人						
協働の視点	この事業を実施するために、市民などにより組織された実行委員会と企画、運営面で協働して行った。						
環境配慮への視点	毎回チラシ配布は必要最低限に留めた。親子DE/ホールDEコンサートでは、チラシの配布枚数はサロンDEコンサート時と変えずに、ノクティブ内エレベーターの掲示を早期に行う事で対処をし、整理券は早期に配布完了となった。						
取組の成果	サロンDEコンサートは、多様な音楽を気軽かつ身近に区民に提供するとともに、地域の音楽家に発表の場を提供することができた。おやこDEコンサートは昨年は親が退屈してしまう場面があったので、親子で楽しめる内容となるように工夫を行い、手作りのプレゼントなどが好評を博した。ホールDEコンサートについても、多様な世代による音楽がもたらす感動を無料で楽しめるホールコンサートとして好評を得た。全体として、地域の人的資源を活かし、音楽を通してのまちづくりに寄与することができた。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	身近な地域で音楽に親しむ機会として、いずれのコンサートも一定の参加を得ており、アンケート結果も好評であることから、翌年度も継続して実施する。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	5	事業名	高津区音楽のまち推進事業 (プラザ橋みんなで楽しむ音楽事業)		
事業所管課	生涯学習支援課			担当者	高橋	連絡先	044-788-1531

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	【音楽事業共通】 区内の多様な音楽資源を活用し、個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進するために、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。 また、市民協働で取り組むことで、区民ニーズに即したコンサート等を開催するとともに、協働のまちづくりの推進が求められている。
事業概要	【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】プラザ橋にて、小さい子どもからシニアの方まで楽しめる「たちばなファミリーコンサート」を年3回実施。また、「おはよう！歌の広場」を年10回実施し、シニア層を中心に、気軽に集い、歌を通して交流が図れる場を提供する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	287,000	予算額（調整後）	287,000	決算額	287,000	不用額	0
不用の理由							
事業目標	「音楽のまち・かわさき」を推進するために、地域の人材・資源の活用を図ることにより、音楽を通してのまちづくりを目指し、たちばなファミリーコンサートでは来場者アンケートの結果「参加してよかった」という意見を8割以上得ることを目標とする。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	様々な世代が参加できるコンサートを年3回開催する。実施に当たっては、鑑賞するだけでなく、一緒に歌う、パフォーマンスする、楽器に触れるなど、参加型・体験型の企画に配慮する。また、コンサートに加え、主にシニア世代が気軽に参加し、一緒に歌を歌い、音楽を通して交流する「おはよう！歌の広場」を、年10回定期的に開催する。						
事業目標を達成する上での課題等	音楽を鑑賞するだけでなく、参加し、体験し、楽しみながら、音楽を通じた仲間づくりやネットワークづくりを進める事業展開が課題である。						
実績	【委託先】プラザ橋みんなで楽しむ音楽事業実行委員会 【会場】プラザ橋2階 第3・第4学習室 1 たちばなファミリーコンサート ①「洗足学園ゆかりの音楽とお話inプラザ橋」 出演:洗足学園音楽大学渡部亨ゼミ学生 8月2日(日) 11:00~12:00、13:30~14:30の2回 合計186人参加 晴れ ②「イングリッシュハンドベルによる天使のハーモニー」 出演:サークルねぎぼうず 12月6日(日) 13:30~14:30 159人参加 晴れ ③「小さなお子さんからシニアの方まで楽しめる！JAZZコンサート」 出演:伊藤潮トリオ 3月6日(日) 13:30~14:30 125人参加 曇り 2 おはよう！歌の広場 歌唱指導 笹子まさえ 5月25日(月)、6月22日(月)、7月27日(月)、8月24日(月)、9月28日(月)、10月26日(月)、12月14日(月)、1月25日(月)、2月22日(月)、3月28日(月) 10:00~11:30 合計1,167人参加						
協働の視点	実行委員会形式（プラザ橋みんなで楽しむ音楽事業実行委員会）により協働の意義を高めることを目指している。出演団体等の選定では、職員主導に傾きがちであるが意見を伺いながら進めている。 コンサートについては、小・中学生、高校生のボランティアの協力を得ることができた。また、歌の広場では、参加人数が増えるにつれ、参加者が片付け等を積極的に手伝う等、一体感や連帯感を感じながら運営ができています。						
環境配慮への視点	コンサートでは、必要に応じて靴袋を持参してもらい、ゴミの排出に配慮した。						
取組の成果	コンサートについては、チケットも即日配布終了、乳幼児から高齢者まで幅広い参加を得て、平均で100名を超える参加となった。アンケートでは、90パーセント以上が「参加してよかった」と回答している。自由記述では、参加型・体験型についての評価が多く見られ、ねらいが受け止められていると思われる。 「おはよう！歌の広場」は、年々参加者が増加し、平成27年度は参加者が100人に達し、多い日では120名を超える日もあり、ぜひ続けてほしいとの声を多くいただいている。地域のシニア層が気軽に集える場となり、引き続き取組を進める必要がある。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	コンサート年3回の開催はこれまで通り行っていく。洗足学園音楽大学渡部ゼミ「演奏会企画演習」は、学生にとっても貴重な機会であることも踏まえて、企画内容を検討しつつ継続する。他の2回はできるだけ地域の音楽団体・音楽家などを招へいしていく。こどもの声などが気になるとの感想もあり、ねらいを伝えるとともに、席のレイアウトやプログラムを工夫していく。 「おはよう！歌の広場」は、平成27年度の参加状況やニーズを踏まえ、引き続き年間10回実施し（4月・12月を除く第4月曜）、シニア世代の地域交流の場としての更なる定着をめざす。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	5	事業名	高津区音楽のまち推進事業 (たかつウインターコンサート)		
事業所管課	生涯学習支援課			担当者	本田	連絡先	044-814-7603

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	【音楽事業共通】 区内の多様な音楽資源を活用し、個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進するために、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。 また、市民協働で取り組むことで、区民ニーズに即したコンサート等を開催するとともに、協働のまちづくりの推進が求められている。
事業概要	【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】高津市民館ホールで、プロの音楽家と日ごろ地域で活動しているアマチュア演奏家で構成するウインドオーケストラによるコンサートを開催し、区民が身近な地域で良質なクラシック音楽を気軽に楽しむ機会を提供する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	440,000	予算額(調整後)	440,000	決算額	434,659	不用額	5,341
不用の理由	体調不良等による当日の急な欠席により、ボランティア謝礼の支出が当初予定より少なくなったため。						
事業目標	「音楽のまち・かわさき」を推進するために、地域の人材・資源の活用を図ることにより、音楽を通じたまちづくりを目指す。事業実施に当たり、魅力あるプログラム内容を検討し、集客数の維持向上と効果的な事業展開を目指す。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	クラシックの名曲を気軽に鑑賞することのできる有料コンサートを開催する。オーケストラとプロによるソロ演奏を織り交ぜた多彩な構成で実施する。 日時：3月19日(土) 14:00~16:00 開催						
事業目標を達成する上での課題等	無料のコンサートがある中、有料でも質の高いクラシック音楽の演奏を聴きたい区民の期待に応え、一定の集客を確保すること。楽曲編成を常に新しいものとし、多彩な音楽を提供すること。						
実績	【委託先】高津ウインターコンサート実行委員会 日時：3月19日(土) 14:00~16:00 会場：高津市民館大ホール 天候：晴れ 入場者数：388人(定員600人)						
協働の視点	この事業を実施するために、市民などにより組織された実行委員会と企画・運営を協働して行った。						
環境配慮への視点	再生紙の使用や裏紙の活用などを、積極的に行った。						
取組の成果	今年度のコンサートは、入場者は388人、収入については、319,200円であり、一定の集客を確保することができた。また、入場前売り券は、販売開始日初日だけで83枚を販売、有料でもこのコンサートを楽しみにしている区民が多数いることが確認できた。コンサートでは、オーケストラの演目としてはめずらしく、ピアノ協奏曲とヴァイオリン協奏曲を両方演奏するなど、多彩で良質なクラシック音楽を提供し、好評を博した。						達成度 3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	毎年、一定の入場者数及び収入を確保し、楽曲編成に工夫を凝らすことで好評を博していることから、翌年度も継続して実施する。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	5	事業名	高津区民音楽のまち推進事業（高津区民音楽祭）		
事業所管課	地域振興課		担当者	中澤	連絡先	044-861-3134	

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<p>【音楽事業共通】</p> <p>区内の多様な音楽資源を活用し、個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進するために、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。</p> <p>また、市民協働で取り組むことで、区民ニーズに即したコンサート等を開催するとともに、協働のまちづくりの推進が求められている。</p>
事業概要	<p>【音楽事業共通】</p> <p>区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。</p> <p>【内容】高津区民音楽祭開催に向けた企画・運営を行い、運営委員会や参加グループミーティングを通じて参加する市民音楽グループ同士の交流を図り、企画や準備段階から携わる参加型の高津区民音楽祭を開催する。</p>

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	1,124,100	予算額（調整後）	1,124,100	決算額	1,030,750	不用額	93,350
不用の理由	ゲスト枠を参加団体の共同発表の時間に変更し、ゲスト報償費の削減等による差異						
事業目標	客数を維持向上させることおよび来場者アンケートの結果「満足できた」という意見を8割以上得ることを目標とする。また、参加型音楽イベントのため、新たな音楽家や音楽グループの参加が得られることを目標とする。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	音楽に造詣の深い地域団体と市民が協力して企画運営を行い、参加する市民音楽グループが企画や準備に携わる参加型の音楽イベントを中心とした高津区民音楽祭を開催する。						
事業目標を達成する上での課題等	●地域振興課と生涯学習支援課で行っている事業について、情報共有して連携を図り、区民のニーズを取り入れることにより、効率的で効果的な事業展開を図っていく必要がある。						
実績	<p>委託先：高津区民音楽祭運営委員会</p> <p>会場①：川崎市民プラザ屋内広場 11/28（土）15：00～18：00 ●参加グループ 6 ●来場者 約250名</p> <p>会場②：高津市民館大ホール 12/12（土）14：20～17：00 ●参加グループ 4 ●コラボ企画 1 ●特別出演 1 ●来場者 約600名 12/13（日）14：00～17：00 ●参加グループ 13 ●来場者 約600名</p>						
協働の視点	企画・運営を区内で音楽事業を展開・支援する団体の構成員等で構成される運営委員会に委託し、協働により実施している。						
環境配慮への視点	再生紙や裏紙を使用した資源の節約に努めた。						
取組の成果	<p>●アンケート結果[満足度] 1日目62.0% 2日目76.9% 3日目75.1%</p> <p>●新規参加 6グループ</p> <p>新規参加グループは想定以上に増え、参加者ミーティングで新たな視点からの意見交換も活発になされた。反面、従来通りのプログラムを期待した来場者の満足度はやや下がってしまったが、総合的に事業目標は達成した。今後は来場者と参加者が一緒にできるプログラムを組むなどして来場者の満足度向上を図っていく。</p>						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	区内最大の参加型音楽事業であることから、より良い事業となることが望まれる。今年度は、来場者をさらに呼び込むため、町内（自治）会の掲示板での開催告知を行った。より多くの区民が観に行きたいと思うような事業になるよう、開催・変更結果の検証を行いながら改善していく。また、28年度は出演団体のジャンルを広げるための広報の方法を検討していく。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	05	事業名	高津区音楽のまち推進事業（子どもの音楽文化体験）		
事業所管課	地域振興課			担当者	今井	連絡先	044-861-3134

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<p>【音楽事業共通】</p> <p>区内の多様な音楽資源を活用し、個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進するために、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。</p> <p>また、市民協働で取り組むことで、区民ニーズに即したコンサート等を開催するとともに、協働のまちづくりの推進が求められている。</p>
事業概要	<p>【音楽事業共通】</p> <p>区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。</p> <p>【内容】</p> <p>子どもたちが本物の音楽文化に触れる機会を提供すること、これにより音楽文化を生み出す心を育むことを目的に、音楽鑑賞体験及び演奏体験ワークショップ等を実施する。</p>

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	1,366,680	予算額（調整後）	1,366,680	決算額	1,308,724	不用額	57,956
不用の理由	子どものオペラのチラシ・プログラムの印刷枚数精査等による差異						
事業目標	客数を維持向上させることおよび来場者アンケートの結果「満足できた」という意見を8割以上得ることを目標とする。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<p>(1)身近な場所での音楽体験：こども文化センター等への演奏者派遣 1回×7ヶ所</p> <p>(2)家族単位による音楽鑑賞体験：洗足学園音楽大学区内で開催される公演への無料招待 1回</p> <p>(3)ホールでの音楽鑑賞体験：洗足学園音楽大学講師等プロによるオペラ公演の開催 1回（2回公演）</p> <p>(4)演奏体験ワークショップ：小学生を対象とした打楽器演奏体験 1回（練習3回＋発表）</p> <p>(5)音楽体験を通じた子どもの情操教育：未就学児を対象としたリトミック体験 1回</p>						
事業目標を達成する上での課題等	●地域振興課と生涯学習支援課で行っている事業について、情報共有して連携を図り、区民のニーズを取り入れることにより、効率的で効果的な事業展開を図っていく必要がある。						
実績	<p>委託先：子どもの音楽文化体験事業実行委員会</p> <p>(1)こども文化センターコンサート 高津(8月18日、94名)、上作延(10月13日、105名)、東高津(11月2日、50名)、子母口(12月2日、41名)、末長(12月24日、120名)、梶ヶ谷(3月22日、88名)、二子(3月24日、74名)</p> <p>(2)洗足学園公演招待「ぐりとぐら」(11月13日、洗足学園音楽大学前田ホール、388名)</p> <p>(3)オペラ公演「泣いた赤鬼」(9月5日、高津市民館大ホール、11時半457名、14時351名)</p> <p>(4)演奏体験ワークショップ(11月から3回の練習を高津市民館にて行い、12月12日区民音楽祭にて発表、22名参加)</p> <p>(5)リトミック体験会(2月7日区役所市民ホール、年齢別に3コースに分けて実施、計37名)</p>						
協働の視点	企画・運営を、音楽関係者、こども文化センター館長、子育て世代区民等で構成されている実行委員会に委託し、協働により実施している。また、事業実施時に参加者の保護者に対して委員公募の告知を行っている。						
環境配慮への視点	チラシやプログラムの作成にあたっては、再生紙を使用するとともに、イベント毎に最適なサイズや必要枚数を精査して資源の節約に努めた。						
取組の成果	<p>●こども文化センターコンサートでは、会場の広さに応じて内容を適宜変えるなど、参加者がより楽しめるよう工夫した。</p> <p>(前年比：高津+10名、上作延+23、東高津-40、子母口+1、末長+7、梶ヶ谷+21、二子-6、全体+16)</p> <p>●オペラ公演では区ウェブサイトからの申込受付を継続、ホームページでの周知方法を工夫し、過去最高の来場人数となった。アンケートでも子ども80%、大人90%から「満足」の回答を得た。</p> <p>●公演招待では会場変更による募集人数の増加に、従来の公募に加え保育園単位での鑑賞も募集することで対応した。これにより、新たな層に鑑賞機会を提供できた。</p> <p>●演奏体験ワークショップは定員以上の応募があり、参加者アンケートも88%から満足の回答を得た。</p> <p>●リトミック体験は初めての実施となったが、特に低年齢層で定員を上回る応募を得た。区役所ロビーで実施したことにより行政に親しみを覚えてもらうことも出来た。</p>						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	<p>●リトミック体験は今回の応募状況などを考慮して実施時期や年齢の分け方などを見直し、より満足度の高い企画となるよう工夫して継続する。</p> <p>●その他の企画についても、今年度の反省点を踏まえて内容や実施手法を見直しつつ、継続して実施する。</p>

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	10	事業名	高津区子どもフェア事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	辻永	連絡先	044-861-3145

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	子ども達が、普段のくらしの中で地域の自然とふれあいながら遊べる機会を得られにくいことから、自然とふれあう場を提供することで、非日常的な経験を通じた、親子関係や友人との新たな結びつきを図ることを目的として事業を実施する。
事業概要	区内の主要な地域資源である多摩川の河川敷を会場とし、残された豊かな自然環境を利用した催しを実施する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	600,000	予算額(調整後)	600,000	決算額	600,000	不用額	0
不用の理由							
事業目標	様々な団体の参加による地域交流と青少年健全育成や子育て世代の交流を図るためイベントを協働で行う。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	高津区子ども会連合会を中心に「高津区子どもフェア運営委員会」を設け、高津区子どもフェアを実施する。						
事業目標を達成する上での課題等	関係団体との連携・協力体制の構築と区民への周知による新規参加者の開拓						
実績	高津区子どもフェア運営委員会に委託。 8月30日(日)10時より、多摩川河川敷新二子橋下を中心に実施。 「どろ船レース」、「うなぎ・ドジョウ・あゆのつかみ取り」等を行った。 参加者1,500人						
協働の視点	高津区子ども会連合会を中心に、地域で活躍する関係各団体から運営委員を募り委員会が構成され、企画・運営全般にわたり協働で取り組んだ。						
環境配慮への視点	イベント終了後の廃棄物の分別のほか、多摩川の生態系展示を行うなど、環境教育の面で充実した内容となった。						
取組の成果	雨天にもかかわらず多数の参加者を得、アンケート調査においても好意的な回答を得た。また、運営委員会を構成する団体を中心に青少年育成関係団体の参加があり、子どもを取り巻く大人のネットワークが構成された。						達成度 3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	予算規模は同程度とし、内容については運営委員会での検討を経て、地域の需要に応じて必要な改善を図る。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	15	事業名	「たちばな農のあるまちづくり」推進事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	松本	連絡先	044-861-3133

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	橋地区における地域資源（都市農業、歴史的資源、緑地、各種活動等）を活用した地域活性化を総合的に行うための基本方針である「たちばな農のあるまちづくり」推進方針（平成20年度策定、平成21～30年度の10年間を計画期間とする）を推進する。
事業概要	<p>推進方針を推進するための5つの行動計画を展開実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●農業者と区民が協働し、食と農の地域資源を発見 ●地産地消と子どもの食育を結び、次世代に伝える。 ●市民パワーによる地域資源の活性化、ネットワーク化の推進 ●地域交流機能等をもった店舗の活用 ●戦略的広報の実施

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	1,450,000	予算額（調整後）	1,450,000	決算額	1,432,200	不用額	17,800
不用の理由	契約差金及び報償費が当初見込みより少なく済んだため。						
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ●基本方針に沿った事業展開 ①食と農の地域資源を発見する活動の推進 ②地産地消と食育を結び、次世代につなげる活動づくり ③「たちばなブランド」を活かしたまちづくりの推進 ●情報発信の推進 						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●「たちばな農のあるまちづくり」推進会議の開催（年3回） ●たちばな地区の魅力を発信するファーマーズマーケット「高津 さんの市」の久本薬医門公園を活用した定期開催と、区内各所での「出張さんの市」の開催 ●情報発信拠点としての店舗等の活用 						
事業目標を達成する上での課題等	10年計画である「たちばな農のあるまちづくり」推進方針の7年目となり、今後推進会議による自主運営を確立していくために、参加メンバーの増員と定着を図るとともに、持続可能な事業を検討する必要がある。						
実績	<p>委託先：「たちばな農のあるまちづくり」推進会議 推進会議は予定通り開催（3回）。農体験イベント（10月3日、11月7日@小宮農園、計79人参加）や写真展（11月24日～12月25日@区役所・出張所・市民館・プラザ橋）等のプロジェクトについては、将来的な推進会議の自立運営に向けて、委員全員で計画・実施した。「高津 さんの市」（4月19日、6月21日、8月16日、10月18日、12月20日、2月21日開催@久本薬医門公園）は毎回300～500人程度の来場者を得て、定着してきた。また、「出張 さんの市」は、新作地区（7月29日）、溝口地区（10月11日）で開催し、いずれも多くの来場者を得て、たちばな地区の魅力を発信することが出来た。地域交流拠点機能を持った店舗の活用については、地場野菜の直売や料理の提供等を地元生産者と連携して取り組んだ。またレストランたかつで、たちばな野菜を利用した料理の提供に併せた広報をすることで、地産地消、PRを図った。</p>						
協働の視点	在任、在勤の区民からなる推進会議が、年間計画、個別取組の企画運営等、全般にわたって主体的に関わり、行政は広報・連絡調整の一部を担うなど、適正な役割分担のもと事業が実施された。						
環境配慮への視点	個別取組の実施にあたってはリユース品・再生品を使用するように配慮した。						
取組の成果	<p>区内の様々な市民活動団体、生産者、一般住民など、多様な委員で構成される推進会議で活発な意見交換がなされ、「たちばな農のあるまちづくり」推進事業そのものが区民交流・地域交流の場として機能している。「高津 さんの市」への出店や農業体験イベントへの協力において、引き続き橋地区の生産者の協力を得られており、良好な関係を構築している。地域交流拠点機能を持った店舗については、地場野菜を使った料理の提供等を積極的に行うことで、情報発信拠点として確立されつつある。また、農業体験イベント等では、食生活改善推進員連絡協議会と連携し、地元野菜を使った料理を小学生を中心とした参加者に試食してもらい地産地消や野菜摂取の必要量など学ぶ機会となった。</p>						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	<p>推進会議の自立的な組織への展開を図るため、持続可能なプロジェクトの検討や新規委員の募集、また市内を中心とした他地域との交流等を実施していく。</p>

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	20	事業名	高津区まちづくり推進事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	松本	連絡先	044-861-3133

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<ul style="list-style-type: none"> ●地域社会がかかえるさまざまな課題を市民自ら解決していこうとする活動が活発化する中で、市民の主体的な地域まちづくり活動への支援など区役所が果たすべき役割が高まっている。 ●「協働型事業のルール」に基づき、地域の課題解決に向けた協働型事業を推進するとともに、区民の主体的な地域のまちづくり活動に係る各種支援策への橋渡しの幅広い支援を行うことが求められている。また、それらと区事業との連携も見出し、地域の課題解決を推進していく必要がある。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくりの推進を図るため、次の事柄を推進する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 市民活動支援ルームの運営と登録団体の交流 2. 区内の市民活動の情報誌であるキラリたかつニュースの発行、市民活動支援のホームページの運営管理 3. 高津学の開催 4. 市民活動見本市の開催 5. 市民参加型のまちづくり実践活動の推進と地域ごとのまちづくり推進組織の生み育て

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	3,988,000	予算額(調整後)	3,988,000	決算額	3,814,667	不用額	173,333
不用の理由	市民活動支援ルーム通信費用の削減(予約状況連絡を電子メールからFAXに変更)						
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ●区内の市民活動・まちづくり活動の活性化 ●活動に参加する区民の輪を広げ、参加と協働によるまちづくりの推進 ●広範なまちづくりの理念を着実に実現に向けていくことを支援 						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	「事業概要」の項目ごとに年間計画をたて、区民主体で企画運営する。 市民活動支援ルーム運営(通年) 交流会(10月・2月) キラリたかつニュース発行(6月・9月・12月・3月) ホームページ運営管理(通年) 高津学開催(6月・7月・9月・10月・12月) 市民活動見本市実施(6月)						
事業目標を達成する上での課題等	事業を担当する各部会の協調を図り、部会間の「協働によるまちづくり」に係る認識を揃える。						
実績	委託先：高津区まちづくり協議会 個別の取組について予定どおり実施した。高津学については、計8回計画したが、雨天等による中止を除き5回開催した。そのうちの4回は継続した取組として、「旧平瀬川沿い水路の活用」に向けた草刈(6/26 15名@旧平瀬川、9/2 15名@旧平瀬川)と地域住民への周知活動として環境再生フォーラムを実施した(10/13 36名@旧平瀬川、10/26 32名@区役所市民ホール)。また「福祉のまちづくり」として、障がい者など災害弱者から直接意見を聴く意見交換会を開催(12/1 46名@区役所会議室)。また、市民活動団体の紹介ならびに交流の場として「市民活動見本市」を開催した(6/21 650人以上@高津市民館)。また、市民活動支援ルーム登録団体交流会及び連絡会を実施した(交流会：10/5 49団体、連絡会：2/25 43団体、いずれも区役所保健ホールにて実施)。						
協働の視点	年間計画、個別取組の企画運営等、全般にわたって区民が主体的に関わり、行政は広報・連絡調整の一部を担うなど、適正な役割分担のもと実施された。						
環境配慮への視点	各種取組で使用使用する物品については、リユース品、再生品を使用するように配慮した。						
取組の成果	区民の主体的な参加により、事業費の全額を各個別取組の経費に充てており、高い費用対効果を実現している。同時に中間支援及び区民の主体的な活動支援の観点から市民活動団体等を対象とした、まちづくり活動を継続するための運営について学ぶ機会を設けるなどの支援ができた。 また一昨年度から継続的に取り組んでいる旧平瀬川沿い水路を活用したまちづくりでは、道路公園センターの協力を得て草刈の回数を重ねるなど、地域へ周知を図ることができた。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	高津区まちづくり協議会の主目的である市民活動団体への中間支援について、さらに充実させていく。 高津区まちづくり協議会の活動自体について関連団体との連携を強化することで、地域へさらなる周知を推進する。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	05	事業名	高津区総合ガイドマップ作成事業		
事業所管課	地域振興課		担当者	今井	連絡先	044-861-3134	

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	区民が安心して日常生活を送れるよう、区に関する基礎的な情報を身近に得られる環境を整える必要がある。
事業概要	区民が、区に関する基礎的な情報を身近に得られることで安心して日常生活を送れるよう、区内の地図や公共施設一覧、バス路線図、防災情報、区役所の電話番号案内などを掲載した総合ガイドマップを作成し、区役所にて転入者全世帯に配布するとともに、区内各公共施設にて希望する区民に配布する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	1,015,000	予算額（調整後）	906,000	決算額	906,000	不用額	0
不用の理由							
事業目標	区民の意見を採り入れ、より利便性の高いガイドマップを作成する。また、広告主募集により、予算相当の歳入を確保する。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●前年度版に対する区民アンケートにより得た区民意見を、仕様書に反映する。 ●歳入の安定化を図るため、効果的な広告募集方法の検討を行う。 						
事業目標を達成する上での課題等	区民意見をより反映させるため、アンケートの適切な実施手法を検討し、サンプル数を増やしていくことが課題である。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> ●仕様書に基づきガイドマップを作成、1月末に発行した（委託先：株式会社エアロ・フォト・センター、25,000部）。 ●前年度版に対するアンケート（区役所ロビー等にて実施、38通）により得られた区民意見を仕様書に反映した。 ●広告掲載主を公募し、275,500円の歳入を得た（対予算+35,500円）。 						
協働の視点	アンケート調査により区民意見を収集し、仕様書に反映させている。						
環境配慮への視点	印刷は石油系溶剤を含まないインキまたは石油系及び植物系溶剤（油脂）を用いたインキで、且つ芳香族炭化水素類が1%以下の溶剤を用いたインキ（エコマーク商品認定基準に適合又は同等以上のもの）を使用した。						
取組の成果	アンケートで得た区民意見を踏まえ、サイズや掲載内容の修正・変更を行い、利便性を向上させた。また、例年どおりカラーバリアフリーにも配慮した。広告募集にあたっては、DM送付対象の見直しを行い効率化を図りながらも予定の広告枠数を完売し、前年同等の歳入を維持できた。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	次年度以降も引き続き区民意見の収集を行い、より利便性の高いガイドマップとなるよう掲載内容の見直しを行う。また、広告掲載による歳入を安定して確保できるよう、より効果的な募集方法を工夫しながら募集事務を行う。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	30	事業名	高津区区政情報発信事業		
事業所管課	企画課		担当者	蟬川	連絡先	044-861-3131	

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	多様化する生活様式のなかで、一人でも多くの区民に適切な情報を伝達できるよう配慮する必要がある。
事業概要	(1)高津区の区政情報を広く区民に周知するため、市政だよりなどの紙媒体だけでなく、インターネット等多角的な広報媒体を活用して、効果的な情報発信を行う。ホームページの一部については、専門的技術による作成やメンテナンスが必要な部分の更新作業を委託する。 (2)モニター広告のほか、ケーブルテレビ（イツコム）の情報番組へ区政情報を提供する。 (3)区役所ロビー及び大山街道ふるさと館に設置した大型端末（たかつタッチビジョン）に掲載されている区役所業務、地域情報等のコンテンツを順次追加・更新する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	743,000	予算額（調整後）	1,003,000	決算額	1,002,240	不用額	760
不用の理由	契約差金						
事業目標	(1)市政だより、ホームページによる情報発信のほか、月1回メールマガジンを発行する。 (2)モニター広告による情報発信のほか、ケーブルテレビに多くの取材、番組放映、ブログ掲載などをしてもらう。 (3)たかつタッチビジョンに新規コンテンツを1つ作成する。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	(1)市政だよりを12回発行するほか、こまめにホームページを確認し、各課が作成したページを区ホームページのトップに置いたり、メインビジュアルを作成・配置し、クリックしてもらうよう誘導の工夫をする。メールマガジンを12回発行する。 (2)モニター広告(16枠/月)に区政情報を掲載するほか、ケーブルテレビの担当者と月1回程度打ち合わせの場を持ち、取材の依頼をする。 (3)橋樹官衙遺跡群が国史跡に指定されたことを受けて、橋樹官衙を紹介するコンテンツを作成する。						
事業目標を達成する上での課題等	情報を発信したい課と連絡を密に取り、適時適切な広報を行うこと						
実績	(1)市政だよりを12回発行した。月3回程度区ホームページトップページの更新作業を行い、鮮度の高い情報が目に触れるよう工夫した。メールマガジンを12回発行した。エコシティたかつのホームページを更新した（委託先：東邦プラン）。 (2)モニター広告(16枠/月)において、区政情報を発信した。ケーブルテレビの取材を10件以上受けた。 (3)橋樹官衙遺跡群を紹介するコンテンツを作成した他、組織改変に伴い、庁舎案内を大幅に修正した（委託先：tt-unit）。						
協働の視点	なし						
環境配慮への視点	区政情報を発信する様々な場面において、ホームページ・メールマガジンなどの電子媒体を積極的に使用することで、省資源化を推進した。						
取組の成果	市政だより、ホームページ、モニター広告、ケーブルテレビなど、複数の媒体を活用した多角的な情報発信を実施した。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	引き続き、市政だより、ホームページ、モニター広告、ケーブルテレビなどを活用した情報発信を行うとともに、古い情報が残らないようメンテナンスを行っていく。また、専門的な技術が必要な「エコシティたかつ」ホームページの更新に当たっては、業者に委託し実施していく。たかつタッチビジョンについては、既存の情報のメンテナンスを行っていく。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	35	事業名	二ヶ領用水久地円筒分水修景施設管理運営事業		
事業所管課	企画課			担当者	高橋	連絡先	044-861-3135

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区久地に位置する二ヶ領用水久地円筒分水は、川崎市初の国登録有形文化財（建造物）であり、区のシンボリックな存在である。 そこで、平成21年度までに整備を行った円筒分水周辺の修景施設について、区の観光資源として、また、区民の憩いの場として、区民と協働で良好な状態に保つとともに、地域コミュニティの場としてさらに活用し、地域の魅力づくりを進めていく必要がある。
事業概要	軽易な清掃や植栽の手入れ、日常的な点検等について、地域住民を中心として組織された管理運営組織（久地円筒分水サポートクラブ）の活動を支援する。 また、植栽の剪定など専門的な業務については、道路公園センターと連携を図りながら、専門業者に委託して実施する。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	548,000	予算額（調整後）	548,000	決算額	503,237	不用額	44,763
不用の理由	契約差金等による。						
事業目標	平成21年度までに整備を行った円筒分水周辺の修景施設について、区の観光資源として、また、区民の憩いの場として、引き続き区民と協働で良好な状態に保つ。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	（1）久地円筒分水サポートクラブとの協働により、月1～2回、1時間程度の美化清掃活動を行うとともに、その他の日常的な維持管理を実施する。 （2）修景施設の維持管理に係る専門的な業務について、道路公園センターと連携を図りながら、専門業者に委託して実施する。						
事業目標を達成する上での課題等	久地円筒分水サポートクラブの主体性及び自主性をより伸ばして行くとともに、継続的な取り組みとするためにも新メンバーの確保が必要である。						
実績	(1)久地円筒分水サポートクラブによる清掃活動等（会員23名） ①毎月第4月曜日10時から1時間半程度、夏季は4回（6～9月に月1回ずつ）活動回数を増加（平成27年度は計15回実施） ②花と緑の交流会への出展（H27.11.29（日）、中原市民館） ③円筒分水スプリングフェスタへの協力（H28.3.27（土）） (2)久地円筒分水樹木育成保護委託 【委託先】庭乃持田園（有）						
協働の視点	久地円筒分水サポートクラブのメンバーが4人のリーダーを中心に、活動内容や広報活動、メンバー募集等の取り組みに自主的かつ主体的に取り組んだ。						
環境配慮への視点	広場内の植栽を適切に管理することにより、身近な緑の創出に寄与している。また、他団体等と連携し、高津区市民健康の森から得られた草木灰を芝生の維持管理に活用するなど、環境面に配慮した資源の有効活用を行った。						
取組の成果	(1)維持管理業務全体を業者委託するのではなく、区民が担うことができる清掃活動などを区民協働で実施することで、効率的かつ効果的に事業を推進することができた。 (2)毎月の美化清掃活動には毎回10名以上の参加があり、その姿は区民協働による良好な環境の維持保全に向けた普及啓発にもつながっている。 (3)メンバー募集ポスターの町内掲示、花と緑の交流会への出展、スプリングフェスタへの協力を通じて久地円筒分水サポートクラブの存在や活動を広報することができ、新規に3名がメンバーに加わった。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	引き続き、維持管理業務全体を業者委託するのではなく、区民が担うことができる部分については区民協働で実施することにより、効率的かつ効果的な事業執行に努める。また、久地円筒分水サポートクラブの新メンバー確保に向けて、交流会への参加等を通して広報活動を継続するとともに、平成28年度からは新たに円筒分水の施設解説と合わせた美化活動の体験イベントを休日に実施する。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	50	事業名	高津区文化振興事業		
事業所管課	生涯学習支援課			担当者	関野・日向寺	連絡先	044-814-7603

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区は大山街道や二ヶ領用水、久地円筒分水、寺社、仏閣、石造物、古墳などの貴重な歴史的・文化的資産を豊富に有している。また、橋地域の豊かな自然や溝口地域の商業文化が織り成す多様な地域特性がある。その一方、他の地域からの転入者が多く、地域文化にふれる機会が少ない住民も多いことから、地域の歴史や文化について学ぶ機会を提供していくことが求められる。
事業概要	高津区の歴史、地理、文化等について学ぶ学習とガイド養成を目的とした実践講座を実施する。 (高津のさんぼみちガイド養成講座)

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	258,000	予算額(調整後)	258,000	決算額	258,000	不用額	0
不用の理由							
事業目標	高津区内の歴史的・文化的資産の活用により、地域の魅力を再認識する機会を提供し、区民のふるさと意識を醸成する。高津区内の歴史的・文化的遺産等に関する学習と、区民自ら発信していくためのガイド養成を行う。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	高津のさんぼみちガイド養成講座(全12回) 定員20名。 高津区の地理・歴史・地名・文化などを学び、実際に高津の魅力を発信するガイドを養成する。 日程: 9月15日(火)、10月6日(火)、10月20日(火)、11月17日(火)、12月1日(火)、12月8日(火)、12月22日(火)、1月19日(火)、1月26日(火)、2月9日(火)、2月23日(火)、3月8日(火)						
事業目標を達成する上での課題等	さんぼみちガイドになるための知識、技術、心構えなどを分かりやすく学べるように資料を充実させること。地域資源を活かし、高津区の魅力を再認識できるよう講座を企画・実施すること。						
実績	<p>【委託先】高津歴史・文化研究会 高津のさんぼみちガイド養成講座(全12回)</p> <p>①9月15日(火) 13:30~16:00 会場:高津市民館 参加者17人 内容:オリエンテーション ②10月6日(火) 9:30~16:00 会場:高津区内 参加者19人 内容:高津をバスで巡る ③10月20日(火) 13:30~16:00 会場:高津市民館 参加者20人 内容:高津・橋の地理、歴史、地名 ④11月17日(火) 13:30~16:00 会場:高津市民館 参加者17人 内容:橋樹の貝塚と古墳、古代のロマンを探る ⑤12月1日(火) 13:30~16:00 会場:高津市民館 参加者16人 内容:ガイド実践オリエンテーション ⑥12月8日(火) 9:00~12:00 会場:高津区内 参加者14人 内容:橋樹郡衙と影向寺コース散策 ⑦12月22日(火) 9:00~12:00 会場:高津区内 参加者14人 内容:久本山と神社、仏閣、市民プラザコースを散策 ⑧1月19日(火) 13:30~16:00 会場:高津市民館 参加者15人 内容:ガイド原稿作成 ⑨1月26日(火) 13:30~16:00 会場:高津市民館 参加者14人 内容:ガイド原稿作成 ⑩2月9日(火) 9:00~12:00 会場:高津区内 参加者12人 内容:橋樹郡衙と影向寺コースのガイドを実践 ⑪2月23日(火) 9:00~12:00 会場:高津区内 参加者13人 内容:久本山と神社、仏閣、市民プラザコースのガイドを実践 ⑫3月8日(火) 13:30~16:00 会場:高津市民館 参加者16人 内容:まとめ</p>						
協働の視点	高津歴史・文化研究会と協働して、企画立案し運営を行った。また、地域の人材や資源を有効に活用し、質の高い効果的な学習を提供した。						
環境配慮への視点	再生紙の使用や裏紙の活用などを行った。						
取組の成果	全回を通じて出席率が高く、参加者が継続して学ぶことができた。講座では座学だけでなく、実際に複数回さんぼみちを歩くことにより、身近な地域の魅力を再認識してもらうことができた。受講を契機に地域への愛着・関心が強まり、ガイド団体に参加したり、友人や知人を現地案内したりと、地域での実践に繋がっている。最終回のアンケートでは、今後ガイド活動に対して、「やってみたい」「今後考えてみたい」と回答した参加者が19人あり、取組の成果が得られた。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	ガイド養成講座は2年目となるが、今回も人材育成に一定の成果を上げることができた。翌年度もこれまでの成果を引き継ぎ、継続実施することで人材育成を進める。また、養成講座に加え、ボランティアガイドを活用した事業企画の検討を行う。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	55	事業名	高津区多文化共生推進事業		
事業所管課	生涯学習支援課			担当者	関野・日向寺	連絡先	044-814-7603

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	社会経済状況の変化などによるグローバル化が進展する中、様々な国・地域から多くの人々が来日し、地域で生活する外国人市民がより身近なものとなっている。外国人市民を地域社会を構成するかけがえのない一員とし、国籍や民族、文化の違いを豊かさとして活かし、すべての人が互いに認め合い、人権が尊重され、自立した市民として共に暮らすことのできる多文化共生社会の実現に向けた推進が必要である。
事業概要	多文化共生社会の実現を推進するため、5つの事業を実施する。 ①外国人市民とともに学ぶ多文化防災訓練 ②多文化共生講演会「大規模災害そのとき、外国人市民は、支援そして連携へ」 ③外国人の子どもと保護者のための子育て広場（フリースペース） ④外国人市民とともに楽しむ地域めぐり体験 ⑤外国人市民とともに体験する日本料理&伝統文化

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	258,000	予算額（調整後）	258,000	決算額	257,821	不用額	179
不用の理由	契約差金						
事業目標	高津区に居住する外国人市民等、様々な人々が主体的に豊かに地域生活を営めるよう支援することを通して、区民間の相互理解を推進し、様々な文化が豊かに息づく多文化共生のまち・高津の実現を目指す。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ①外国人市民とともに学ぶ多文化防災訓練：7月12日（日）開催 消防署への電話の仕方、AEDの使い方、消火器の使い方、煙ハウス体験、起震車体験、防火服体験 ②多文化共生講演会「大規模災害そのとき、外国人市民は、支援そして連携へ」：9月5日（土）開催 災害時の外国人市民への支援のあり方と連携について考える ③外国人の子どもと保護者のための子育て広場（フリースペース）：9月16日（水）～3月16日（水）月1回 開催 0歳～未就学児の子どもと保護者を対象にした、情報交換、友達作りの場としてのフリースペース ④外国人市民とともに楽しむ地域めぐり体験：10月17日（土）開催 橋りサイクルコミュニティセンター（紙すき体験・センター内見学）、澁谷農園（芋ほり・もちつき・茶道体験） ⑤外国人市民とともに体験する日本料理&伝統文化：2月7日（日）開催 手打ちうどん作り、華道体験 						
事業目標を達成する上での課題等	事業を通じた参加者同士の交流、日常生活に役立つ施設や情報の提供等を意識して行っていく必要がある。						
実績	<p>【委託先】高津区多文化共生推進事業実行委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ①外国人市民とともに学ぶ多文化防災訓練 日時 7月12日（日）12：30～15：30 会場 高津消防署 参加者17人（うち外国人市民5人） ②多文化共生講演会「大規模災害そのとき、外国人市民は、支援そして連携へ」 日時 9月5日（土）14：00～16：00 会場 高津市民館 参加者28人 ③外国人の子どもと保護者のための子育て広場（フリースペース） 日時 9月16日（水）～3月16日（水）12：00～14：00 月1回 会場 高津市民館 延べ参加者39組 ④外国人市民とともに楽しむ地域めぐり体験 日時 10月17日（土）9：30～16：00 会場 橋りサイクルコミュニティセンター、澁谷農園 参加者24人（うち外国人市民12人） ⑤外国人市民とともに体験する日本料理&伝統文化 日時 2月7日（日）10：00～15：00 会場 高津市民館 参加者16人（うち外国人市民10人） 						
協働の視点	市民から構成される高津区多文化共生推進事業実行委員会と協働し、企画及び運営を行った。また、区内の公共施設や区民と積極的に連携することで地域資源を活用しながら実施した。						
環境配慮への視点	再生紙の使用や裏紙の活用を行った。						
取組の成果	事業を通じて外国人市民と区民の交流が深まり、それぞれの国の文化や違いを認め合い、お互いを理解する一助となることができた。外国人市民にとって知る機会が少ない区内の公共施設や、生活に役立つスポットを実際に訪れ経験することで、より豊かな生活に繋がる情報を分かりやすく提供することができた。子育て広場では、参加者同士の様々な情報交換や友達作りの貴重な場となっており、参加者が友達を連れて参加するなど、広がりが生まれている。各事業実施後のアンケート結果からも「役に立った」「楽しかった」との回答が多く、参加者の満足度も高かった。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	翌年度も、川崎市多文化共生社会推進指針及び川崎市総合計画高津区計画に基づき、これまでの地域のニーズや事業実施結果を踏まえ、継続実施する。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	05	事業名	大山街道周辺整備活性化事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	今井	連絡先	044-861-3134

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	大山街道を核とした具体的な地域活性化策の実施及び歴史的な資源を活かした環境整備を通じ、交流人口を増加させ、商店街やコミュニティを活性化させることが課題である。
事業概要	大山街道のまちづくりに関心を持つ人が増えるよう、魅力的な空間創造と計画的かつ総合的な地域活性化のための取組みを、高津大山街道及びその周辺に残っている歴史的・文化的な地域資源を保全・活用するため策定した高津大山街道マスタープランに基づき、大山街道アクションフォーラム（以下「AF」と表記）を中心に進める。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	2,430,000	予算額（調整後）	2,430,000	決算額	1,893,742	不用額	536,258
不用の理由	イベント内容の見直し及び事務費等の削減努力による						
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ●AFの継続的な開催を通じて地域コミュニティの活性化を図るとともに、AFの自立的な運営体制を確立する。 ●大山街道沿道の施設や大山街道が通る他地域など周辺資源との連携により、回遊性ある魅力的なまちづくりを実現する。 						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●AFを企画、開催する（年2～3回）。 ●大山街道ふるさと館の多面的利活用や新住民の参加促進に係るイベント等を企画・開催する。 ●多世代交流を促進するイベントとして「二子の渡し」を前年度に引き続き実施する。 ●沿道他地域と連携したイベントを企画・実施する。 						
事業目標を達成する上での課題等	●AFを中心に、地縁組織との関係維持に配慮しつつ大山街道ふるさと館との連携や新規住民の参加獲得を図りながら、周辺の環境変化に対応した効果的な事業推進体制を確立する必要がある。						
実績	<p>委託先：大山街道アクションフォーラム運営委員会（会議運営等）、特定非営利活動法人とどろき水辺（二子の渡し体験）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●AF運営委員会の企画によりAFを2回開催（旧東海道品川宿、10月2日-14名、大山街道ふるさと館、1月26日-34名）した。1月開催分では世田谷区のまちづくりを取り上げ、関連企業・団体・行政の参加を得た。 ●AFで提案された景観演出の取組みとして、街道沿いの5物件に太鼓幕を設置した。 ●AFのアイデアを実現するイベントとして、大山街道フェスタ実行委員会やふるさと館と連携を取りつつ、「大山みちまちワークショップ」を大山街道ふるさと館、二子神社などで開催した（3月6日、カレーフェスタ2000食販売、絵付けワークショップ100名参加）。 ●二子の渡し体験を二子神社で開催した（11月3日、河川増水により渡し船は中止、周辺イベントのみ実施） ●宮前区と共催で2日間に亘り、公募による大山街道ウォーキングを開催した（10月7日・14日、2区計55名参加） 						
協働の視点	地域住民等で構成されるAF運営委員会を委託先とし、区役所の支援のもと区民主体で会議やイベントが実施できた。また、自主的なワークショップ等を行う小グループがAFから派生して活動している。						
環境配慮への視点	会議やイベントではゴミ持ち帰りの呼びかけを行うとともに、分別回収を実施した。						
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ●沿道自治体との連携を意識してAFを企画・開催できた。 ●地域のダンスサークル主宰者や不動産事業者など、AFへの新規協力者を得ることができた。 ●二子の渡し体験では、渡し船自体は天候により中止となったが、市民活動団体等の協力者が増えたことにより周辺イベントを充実させ、多世代の交流や歴史への関心喚起という当初の目的を達成することができた。 ●宮前区と共催のウォーキングでは、教育委員会の協力を得て橋樹官衙遺跡群をコースに取り入れたことで定員を上回る応募を得た。 						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	引き続き、AF運営委員会を中心に事業を推進しつつ、新規委員の獲得や大山街道ふるさと館との連携促進を支援する。

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	70	事業名	高津区地域資源ネットワーク事業		
事業所管課	企画課			担当者	高橋	連絡先	044-861-3135

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	<p>高津区の歴史・文化・自然などの地域資源を結ぶ高津のさんぼみち（6コース）については、案内サインが設置されていない、経路が複雑である、詳細なガイドマップがないといった課題がある。また、高津のさんぼみちが設定されていない地域もある。</p> <p>溝口駅南口広場整備にあわせて総合案内板が整備される予定である一方、既存公共サインは表示内容が古い、デザインが統一されていない等の課題がある。</p>
事業概要	<p>平成23年度に策定した「高津区公共サイン整備指針」に基づき、区民参加ワークショップによる高津のさんぼみちのルート等の見直し、サイン整備及びガイドマップの制作を進める。また、溝口駅南口広場の整備に合わせて設置される総合案内サインのデザインを検討するとともに、区内の既存公共サインの表示内容の更新を進める。</p>

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	4,050,000	予算額（調整後）	3,194,000	決算額	3,193,884	不用額	116
不用の理由	契約差金による。						
事業目標	<p>(1) 高津のさんぼみち「久末コース」の道標整備（4ヶ所）及びガイドマップ作成（3,000部）</p> <p>(2) 高津のさんぼみち（仮称）「下作延・上作延コース」の新規ルート策定</p> <p>(3) 溝口駅南口広場総合案内板のデザイン案の作成</p>						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<p>(1) 高津のさんぼみち「久末コース」について、昨年度の区民参加ワークショップの検討結果及び「高津区公共サイン整備指針」に基づき、道標の整備及びガイドマップの作成を実施する</p> <p>(2) 高津のさんぼみち（仮称）「下作延・上作延コース」について、区民参加ワークショップを開催して新規ルートの策定や道標の設置位置についての検討等を行う</p> <p>(3) 溝口駅南口広場総合案内板における周辺及び広域案内図、魅力及び取組み発信サイン、誘導サインのデザイン案を作成する</p>						
事業目標を達成する上での課題等	高津のさんぼみちについては、整備後の活用も視野に入れて区民や関係団体等の意向を十分に反映させることが必要である。						
実績	<p>(1) 高津のさんぼみちワークショップ企画運営及びガイドマップ制作等業務 【委託先】(株)社会空間研究所</p> <p>①（仮称）「下作延・上作延コース」のワークショップ開催（H28.2.21（日）午後、晴、参加者22人）</p> <p>②「久末コース」のガイドマップ制作（3,000部）</p> <p>(2) 高津区公共サイン整備道標等設置業務 【委託先】(株)アボック社</p> <p>①高津のさんぼみち「久末コース」の道標整備（4ヶ所、道路占有手続き）</p> <p>②高津のさんぼみち既存道標表示面へのQRコード設置</p> <p>③溝口駅南口広場総合案内板のデザイン案の作成（周辺及び広域案内図、魅力及び取組み発信サイン、誘導サイン）</p>						
協働の視点	高津のさんぼみちの新規ルート策定については区民参加ワークショップを開催するとともに、関係団体等との意見交換を随時実施しながら進めた。また、「高津区公共サイン整備指針」は、地域資源の活用やガイド活動等に係る関係団体の代表者などを含む検討委員会で議論し、策定されたものである。						
環境配慮への視点	「高津区公共サイン整備指針」に基づき、景観（緑地等）と調和した整備を進めた。						
取組の成果	<p>(1) 高津のさんぼみち「久末コース」のガイドマップを作成、配布するとともに、現地に道標を整備したことで、区民の意見を活かした回遊性のあるまちづくりの推進や地域資源の魅力発信をすることができた。</p> <p>(2) 高津のさんぼみち（仮称）「下作延・上作延コース」について、区民参加のワークショップの開催により、区民の意見を踏まえた新規ルートの策定やタイトルの決定等が実施できた。</p> <p>(3) 「高津区公共サイン整備指針」に基づく総合案内板のデザイン案を策定することができた。</p>						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	<p>高津のさんぼみちについては、引き続き区民参加のワークショップを開催してルートの見直し等を進めるとともに、実際に活用する区民や関係団体等の意見を踏まえ、新コースの策定や総合案内マップの作成等についても検討する。</p> <p>また、既存公共サインの改善については、溝口駅南口広場整備に合わせて設置される総合案内板（広域案内図、周辺案内図、誘導サイン、魅力発信サイン）に広告物を掲載する社会実験を実施することで、持続可能な市民サービスの提供に繋げていく。</p>

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	75	事業名	高津区ふるさとアーカイブ事業		
事業所管課	企画課			担当者	熊島	連絡先	044-861-3132

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津のまちに関する各種資料が、年々地域から消えつつある。それらの散逸する資料を高津区全体の社会的資産と捉え、収集・整理・保存するとともに、市民・各種団体・行政等さまざまな主体が活用することが求められている。
事業概要	高津のまちに関する資料（写真・刊行物等）の包括的な収集・整理・蓄積・保存・活用のあり方を定めた「高津区ふるさとアーカイブ基本構想」に基づき、高津区全体の社会的資産としてそれらの資料の活用を図り、ふるさと意識や地域アイデンティティの醸成、地域ブランディングを進める。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	2,565,000	予算額（調整後）	2,565,000	決算額	2,542,460	不用額	22,540
不用の理由	契約差金						
事業目標	デジタルアーカイブ及びWEBサイトを運用し、高津区の写真を継続的に収集・保存するとともに、収集した写真の公開・活用を促進する。						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> (1) デジタルアーカイブ及びWEBサイトの運用 (2) 古写真を活用したワークショップの開催とスマホアプリへの成果の反映 (3) 平成24年度に発行した区制40周年記念誌の販売 (4) 収集した古写真を活用してもらうための啓発パンフレットの作成 (5) おはなしアーカイブの実施 						
事業目標を達成する上での課題等	古写真の継続的な収集とともに、活用主体や活用方法の充実・拡大が課題である。						
実績	<ul style="list-style-type: none"> (1) デジタルアーカイブ及びWEBサイトを運用（約3千点の古写真を公開） (2) 高津区ふるさとアーカイブワークショップ（上作延地域編）を開催。（委託先：トータルメディア開発研究所） 実施日：平成28年1月30日（土） 参加者数：14名 (3) 区制40周年記念誌を企画課で販売した。（55冊） (4) 普及啓発パンフレットとして「高津区ふるさとアーカイブ楽しみ方ガイド」を作成した（1,000部） (5) おはなしアーカイブとして、下作延・上作延・向ヶ丘地域で15名からお話を伺った。 						
協働の視点	高津区ふるさとアーカイブ事業推進連絡会議を開催し、区委員の意見をもとにデジタルアーカイブをはじめとしたアーカイブ事業のあり方について関係機関・団体との情報共有を図っている。						
環境配慮への視点	事務連絡には極力メールを使用し、紙資源の節約を図った。また、デジタルアーカイブでは多摩川や二ヶ領用水とともに発展した高津区の変遷をひとつのテーマに設定し、それに関わる写真の閲覧が可能となっており、環境意識の啓発にもつながると考えられる。						
取組の成果	デジタルアーカイブの運用による保存体制の確立と、ワークショップやスマートフォンアプリの運用によるアーカイブの活用モデルを形成することができた。さらに具体的な活用例を記載した啓発用パンフレットを作成し、区内公共機関や小学校へ配布した。また、ワークショップの対象エリアを、「おはなしアーカイブ」のヒアリング対象エリアと連動させることで、両事業を市民協働で効果的に実施することができた。						達成度
							3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	<p>今後はデジタルアーカイブを安定的に運用することにより、写真資料をはじめとした高津区の地域資料を継続的に収集・保存し、写真展などを開催して郷土愛を醸成していくとともに、市制100周年等の新たな節目に向けてアーカイブの充実を図っていく。また、ワークショップについても、対象地域を変えて実施することにより、資料の活用・収集を促進し、収集⇔活用のサイクルを定着させていく。</p> <p>さらに、多様な主体によるアーカイブの活用方法について、学校・図書館・市民館・市民活動団体等と連携して検討する。</p>

平成27年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	25	予算小事業コード	95	事業名	ものづくりのまち推進事業		
事業所管課	企画課			担当者	高橋	連絡先	044-861-3135

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区には最先端産業をものづくりの面から支える中小の加工組立型企業が集積し、研究開発型企業の育成・交流を目的とした「かながわサイエンスパーク」もあるなど、ものづくり資源の集積が区の一つの特徴となっている。しかし、区内の準工業地域では、工場跡地での戸建ミ二開発が進むなど住工混在状況が複雑化してきており、同地域の町工場は操業環境の確保に不安を抱いている。
事業概要	区内の準工業地域における地域住民と工場との相互理解を深めるとともに、区内ものづくり資源の魅力や可能性を地域内外に発信することにより、区の魅力を高めることを目的として事業を実施する。具体的には、川崎北工業会（久地・宇奈根地区）、下野毛工業協同組合（下野毛地区）、専修大学経済学部遠山ゼミ、川崎フロンターレの連携で設立した「高津ものまちづくり会」と区役所との協働により、オープンファクトリー等による町工場と地域住民との交流促進、各種イベントへの出展による区内ものづくり資源の魅力発信、さらには、これらの取組みを通じた事業者間のネットワークづくりを行う。

3 予算・事業目標・取組の成果

当初予算額	700,000	予算額（調整後）	700,000	決算額	700,000	不用額	0
不用の理由							
事業目標	(1) 町工場と地域住民との交流促進 (2) 区内ものづくり資源の魅力や可能性を地域内外に発信						
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	(1) 下野毛工業協同組合等主催のオープンファクトリー等における協力、広報 (2) 川崎フロンターレホームゲーム同時開催イベントとして開催される「川崎ものづくりフェア」における協力、広報 (3) 「てくのみまつり」への「ものまちプラザ」出展 (4) 住工共生のまちづくりに向けたパンフレットの作成、配布 (5) 久地・宇奈根地区、下野毛地区における地域住民アンケートの実施						
事業目標を達成する上での課題等	住工共生のまちづくりに向けた取組みを地域住民に見える化するとともに、イベントに参加していない地域住民にも丁寧に伝える工夫を行う必要がある。						
実績	【委託先】高津ものまちづくり会 (1) 下野毛工業協同組合オープンファクトリーにおける広報（H28.2.7（日）13～16:00、晴、12社参加、延べ来場者数1,500名程度（実人数240名程度）） (2) 川崎ものづくりフェアにおける広報（H27.5.6（水）11:30～14:30、等々力陸上競技場、晴、公式戦来場者数21,000名程度） (3) ものまちプラザの出展（H28.2.14（日）10～16:00、てくのみかわさき、雨、「てくのみまつり」総来場者数2,830名程度） ※各イベントにおいて地域、町工場及び住工共生のまちづくりに向けた取組みの紹介や展示等を行った (4) 「共に生きる 住工共生のまち」冊子の作成（3,000部）並びに久地・宇奈根及び下野毛地域住民への配布 (5) 上記配布後、地域住民に対するヒアリングアンケートの実施（137件）						
協働の視点	今年度から経済労働局工業振興課と事業の整理を行い、各工業会等の主体的な取組みを後方支援した。その一方で、町工場と地域住民とのさらなる交流に向けて、区役所が地元小学校等との連絡調整を担うとともに、「高津ものまちづくり会」の専修大学遠山ゼミの学生が町工場と地域住民の間に入る形で事業を推進した。						
環境配慮への視点	各企業が住工混在地域で工場を操業するにあたりどれだけ環境配慮等を行っているか、地域住民に正しく情報を伝えていくことも重要な意義の一つである。						
取組の成果	「高津ものまちづくり会」を構成する各団体が強み（各工業会：優れたものづくり技術と事業者間の連携、専修大学：学生の創造力とネットワーク、川崎フロンターレ：独自の媒体やネットワークによる情報発信力）を発揮しながら主体的にイベントの企画運営や協力、住工共生の取組み成果の発信等を行ったことで、イベントの地域への定着に繋がるとともに、地域住民と工場との交流が深まった。また、これらの取組みを通して企業間の団結、連携も強まった。						達成度 3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	経済労働局との事業の整理を行った結果、各団体がより一層主体的な取組みを行って各イベントの参加者数の増加や定着に繋がったことから、引き続き事業を推進して町工場と地域住民との交流を深めていく。 また、さらなる交流の推進や区内ものづくり資源の魅力発信に向けて、平成17年度に策定した「高津区ものづくり企業マップ」の改訂を行う。